

資料No.「業務1-8」
防災業務アプリケーションユニット標準仕様
防災情報共有
【データ一覧】

V1.6

2023年4月



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目次

本書の位置づけ	1
データ一覧	2

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様【データ一覧】」は、各業務ユニットが所管するデータの中で、他の業務ユニットより参照されるデータを集約して、まとめたものである。各業務ユニットは、ここで定義するデータを、提供側の業務ユニットとして、利用側の業務ユニットに対して提供できることが必要である。

<<準拠ルール>>

： 各業務ユニットは、本データ一覧にて定義されたデータ項目を、利用側の業務ユニットに対して提供できること。(必須) [1.8]

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	CD	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明	
連番	NO						コード名	コード名	最小	最大				
01	1	災害情報							1	1			災害時に命名する災害名	
	2	災害識別情報	○	X	20				1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
	3	災害名	○	N	40				1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
	4	都道府県	○	N	12				1	1			災害名を登録した市町村が属する都道府県の名称、もしくは災害名を登録した都道府県名称	
	5	市町村_災对本部名	○	N	12				1	1			災害名を登録した市町村もしくは災对本部の名称	
	6	災害区分	○	X	2	○	災害区分		1	1			登録した災害の区分	
	7	発生日時	○	日付時間情報					1	1				登録した災害が発生した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	8	終結日時	○	日付時間情報					0	1				登録した災害が終了した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発生日時_開始」と「発生日時_終了」、「終結日時_開始」と「終結日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	9	登録日時		日付時間情報					0	1				災害名を登録した日時
	10	更新日時		日付時間情報					0	1				災害名を更新した日時(未定義災害→正式な災害名)
	11	発生場所		N	100				0	1	○			災害が発生している地域(場所)。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	12	災害概要		N	4000				0	1				発生している災害の概要情報
	13	備考		N	4000				0	1				備考欄として災害情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
02	14	災害概況即報						1	1			消防庁第4号様式(その1)
	15	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する
	16	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	17	報告番号	○	9	3			1	1			報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	18	報告日時	○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないことデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時開始」と「報告日時終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	19	都道府県	○	N	12			1	1			報告を行った市町村が属する都道府県の名称。あるいは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	20	市町村,消防本部名	○	N	12			1	1			報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	21	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	22	発生場所		N	100			0	1	○		発生した場所に関する情報。消防庁第4号様式参照。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合も多々あるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	23	発生日時		日付時間情報				0	1			発生した日時に関する情報。消防庁第4号様式参照。
	24	災害の概況		N	4000			0	1			災害の概況に関する情報。消防庁第4号様式参照。
	25	死傷者						0	1			死傷者の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	26	死者		9	7			0	1			死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
	27	不明		9	7			0	1			行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位:人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
	28	重傷		9	7			0	1			重傷者の数。消防庁第4号様式参照。
	29	軽傷		9	7			0	1			軽傷者の数。消防庁第4号様式参照。
	30	住家						0	1			住家被害数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	31	全壊棟		9	7			0	1			住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-01)」に相当。
	32	一部破損棟		9	7			0	1			住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-03)」に相当。
	33	半壊棟		9	7			0	1			住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-02)」に相当。
	34	床上浸水棟		9	7			0	1			住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-04)」に相当。
	35	床下浸水棟		9	7			0	1			住家の床下浸水棟数。消防庁第4号様式参照。
	36	未分類棟		9	7			0	1			住家被害において、その程度が未確定の棟数。消防庁第4号様式参照。
	37	119番通報の件数		9	7			0	1			119番通報の件数。消防庁第4号様式参照。
	38	被害の状況		N	4000			0	1			当該災害により生じた被害の状況について、判明している事項を具体的に記入。その際特に人的被害及び住家の被害に重点を置くこと

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	39	災害対策本部等設置状況_都道府県						0	N			都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
	40	設置状況		N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	41	設置状況日時		日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	42	災害対策本部等設置状況_市町村						0	N			市町村における災害対策本部を設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
	43	災害対策本部等設置市町村		N	12			1	1			災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
	44	設置状況		N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	45	設置状況日時		日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	46	消防機関等の活動状況		N	4000			0	1			地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等。消防庁第4号様式参照。
	47	自衛隊派遣要請の状況		N	4000			0	1			自衛隊の災害派遣要請を行った場合の日時及び内容。消防庁第4号様式参照。
	48	応急対策の状況		N	4000			0	1			応急対策の状況に関する情報(その他都道府県又は市町村が講じた応急対策(避難所設置状況、他地方公共団体への応援要請等)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキームでは第4号様式に準じている。
	49	避難指示等の発令状況						0	1			市町村における各種発令状況。消防庁第4号様式参照。
	50	都道府県名		N	12			0	1			当該都道府県名。消防庁第4号様式参照。
	51	市町村名		N	12			0	1			発令した市町村名。消防庁第4号様式参照。
	52	災害発生情報_対象世帯数		9	7			0	1			災害発生情報(水害・土砂災害が発生した場合に発令)における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。
	53	災害発生情報_対象人数		9	7			0	1			災害発生情報(水害・土砂災害が発生した場合に発令)における対象人数。消防庁第4号様式参照。
	54	災害発生情報_発令日時		日付時間情報				0	1			災害発生情報(水害・土砂災害が発生した場合に発令)を発令した日時。消防庁第4号様式参照。
	55	災害発生情報_解除日時		日付時間情報				0	1			災害発生情報(水害・土砂災害が発生した場合に発令)を解除した日時。消防庁第4号様式参照。
	56	避難指示_対象世帯数		9	7			0	1			避難指示における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。
	57	避難指示_対象人数		9	7			0	1			避難指示における対象人数。消防庁第4号様式参照。
	58	避難指示_発令日時		日付時間情報				0	1			避難指示を発令した日時。消防庁第4号様式参照。
	59	避難指示_解除日時		日付時間情報				0	1			避難指示を解除した日時。消防庁第4号様式参照。
	60	高齢者等避難開始_対象世帯数		9	7			0	1			高齢者避難開始における対象世帯数。消防庁第4号様式参照。
	61	高齢者等避難開始_対象人数		9	7			0	1			高齢者避難開始における対象人数。消防庁第4号様式参照。
	62	高齢者等避難開始_発令日時		日付時間情報				0	1			高齢者避難開始を発令した日時。消防庁第4号様式参照。
	63	高齢者等避難開始_解除日時		日付時間情報				0	1			高齢者避難開始を解除した日時。消防庁第4号様式参照。

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
03	64	被害状況即報						1	1			消防庁第4号様式(その2)
	65	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する
	66	都道府県	○	N	12			1	1			報告を行った都道府県名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	67	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	68	報告番号	○	9	3			1	1			報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……)消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	69	報告日時	○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	70	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	71	人的被害						0	1			人的被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	72	死者		9	7			0	1			死者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「死者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
	73	行方不明者		9	7			0	1			行方不明者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では人的被害(03-04)の「行方不明【単位:人】(情報項目識別子:03-04-02)」に相当。
	74	重傷		9	7			0	1			重傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	75	軽傷		9	7			0	1			軽傷者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	76	住家被害						0	1			住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	77	全壊_棟		9	7			0	1			住家の全壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「全壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-01)」に相当。
	78	全壊_世帯		9	7			0	1			住家の全壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	79	全壊_人		9	7			0	1			住家が全壊した住民の人数。家屋が倒壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	80	半壊_棟		9	7			0	1			住家の半壊棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-02)」に相当。
	81	半壊_世帯		9	7			0	1			住家の半壊世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	82	半壊_人		9	7			0	1			住家が半壊した住民の人数。家屋が半壊するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	83	一部破損_棟		9	7			0	1			住家の一部破損棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「一部半壊【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-03)」に相当。
	84	一部破損_世帯		9	7			0	1			住家の一部破損世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	85	一部破損_人		9	7			0	1			住家の一部破損した人数。住家が一部破損するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	86	床上浸水_棟		9	7			0	1			住家の床上浸水棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「床上浸水【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-04)」に相当。
	87	床上浸水_世帯		9	7			0	1			住家が床上浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	88	床上浸水_人		9	7			0	1			住家が床上浸水した人数。住家が浸水するとそこに属する世帯の住民をカウントする。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	89	床下浸水_棟		9	7			0	1			住家が床下浸水した棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCML2.0では住家被害(07-04)の「床下浸水【単位:棟】(情報項目識別子:07-04-05)」に相当。

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	90	非住家被害		9	7			0	1			住家が床下浸水した世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	91			9	7			0	1			住家が床下浸水した人数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	92	非住家被害						0	1			非住家被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	93			9	7			0	1			被害を受けた公共建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	94			9	7			0	1			被害を受けたその他の建物棟数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	95	その他被害						0	1			その他被害の数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	96			9	7			0	1			田流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	97			9	7			0	1			田冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	98			9	7			0	1			畑流失埋没面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	99			9	7			0	1			畑冠水面積(ha)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	100			9	7			0	1			被害を受けた文教施設箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害文教施設箇所数」に相当。
	101			9	7			0	1			被害を受けた病院の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害病院箇所数」に相当。
	102			9	7			0	1			被害を受けた道路の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害道路箇所数」に相当。
	103			9	7			0	1			被害を受けた橋梁の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害橋梁箇所数」に相当。
	104			9	7			0	1			被害を受けた河川の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害河川箇所数」に相当。
	105			9	7			0	1			被害を受けた港湾の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害港湾箇所数」に相当。
	106			9	7			0	1			被害を受けた砂防の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害砂防箇所数」に相当。
	107			9	7			0	1			被害を受けた清掃施設の箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害清掃施設箇所数」に相当。
	108			9	7			0	1			崖崩れが発生している箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「崖崩れ箇所数」に相当。
	109			9	7			0	1			鉄道が不通となっている箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「鉄道不通箇所数」に相当。
	110		9	7			0	1			被害を受けた船舶隻数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害船舶隻数」に相当。	
	111		9	7			0	1			断水している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「断水戸数」に相当。	
	112		9	7			0	1			電話が不通状態となっている電話回線数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「不通電話回線数」に相当。	
	113		9	7			0	1			停電が発生している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「停電戸数」に相当。	
	114		9	7			0	1			ガス供給が停止している戸数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「ガス供給停止戸数」に相当。	
	115		9	7			0	1			被害ブロック塀等箇所数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「被害ブロック塀等箇所数」に相当。	
	116	り災世帯数		9	7			0	1			罹災対象世帯数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	117	り災者数		9	7			0	1			罹災対象者数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	118	火災発生						0	1			火災発生件数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	119	建物		9	7			0	1			建物火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	120	危険物		9	7			0	1			危険物の火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	121	火災発生_その他		9	7			0	1			その他火災が発生している数(件数)。消防庁第4号様式参照。
	122	公立文教施設		S9	13			0	1			公立文教施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	123	農林水産業施設		S9	13			0	1			農林水産業施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	124	公共土木施設		S9	13			0	1			公共土木施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	125	その他の公共施設		S9	13			0	1			その他公共施設に関する被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	126	小計		S9	15			0	1			上記被害額の合計(千円)。消防庁第4号様式参照。
	127	公共施設被害市町村数		9	4			0	1			公共施設被害市町村の数(団体数)。消防庁第4号様式参照。
	128	被害額その他						0	1			農業、林業、畜産、水産、商工、その他被害に関する被害規模を登録する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	129	農業被害		S9	13			0	1			農業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	130	林業被害		S9	13			0	1			林業被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	131	畜産被害		S9	13			0	1			畜産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	132	水産被害		S9	13			0	1			水産被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	133	商工被害		S9	13			0	1			商工被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	134	被害額その他_その他		S9	13			0	1			その他の被害額(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	135	被害総額		S9	15			0	1			公立文教施設に関する被害額～その他被害額までの総計(千円)。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	136	災害対策本部等設置状況_都道府県						0	N			都道府県における災害対策本部の設置に関する情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	137	設置状況		N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	138	設置状況日時		日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	139	災害対策本部等設置状況_市町村						0	N			災害対策本部を設置している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害対策本部等の設置状況」に相当。
	140	災害対策本部等設置市町村		N	12			1	1			災害対策本部を設置している市町村名。消防庁第4号様式参照。
	141	設置状況		N	4000			1	1			災害対策本部の設置状況(未設置、設置、解散等)。消防庁第4号様式参照。
	142	設置状況日時		日付時間情報				1	1			災害対策本部を設置・解散等上記データのアクションを起こした日時。消防庁第4号様式参照。
	143	災害救助法適用市町村						0	N			災害救助法を適用している市町村の情報。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	144	市町村_消防本部名		N	12			0	1			災害救助法を適用した市町村名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じ、「災害救助法適用市町村名」に相当。
	145	適用日時		日付時間情報				0	1			災害救助法を適用した日時。消防庁第4号様式参照。

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
	146	災害救助法適用市町村数		9	4			0	1			災害救助法を適用した市町村数。消防庁第4号様式参照。
	147	119番通報件数		9	7			0	1			119番通報の件数。消防庁第4号様式参照。
	148	災害の概況		N	4000			0	1			災害の概況に関する情報(災害発生場所、災害発生日時、災害の種類、概況)。消防庁第4号様式参照。
	149	応急対策の状況						0	1			応急対策の状況。消防庁第4号様式参照。
	150	消防機関等の活動状況		N	4000			0	1			消防機関等の活動状況。消防庁第4号様式参照。
	151	自衛隊の災害派遣		N	4000			0	1			自衛隊の災害派遣要請状況(日時、内容等)。消防庁第4号様式参照。
	152	その他		N	4000			0	1			その他の情報(避難所設置状況、災害ボランティア活動状況等)。消防庁第4号様式参照。

データ一覧				業務ユニット名：防災情報共有								
NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
04	153	被害状況_付加情報						1	1			消防庁第4号様式で扱っていない被害情報項目
	154	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	155	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	156	報告番号	○	9	3			1	1			報告番号(初回報告は第1報、変更毎に第2報、第3報……。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	157	報告日時	○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	158	都道府県	○	N	12			1	1			報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	159	市町村_消防本部名	○	N	12			1	1			報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	160	被害識別情報	○	X	20			1	1			被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
	161	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の名前
	162	発生場所		N	100			0	1	○		被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	163	発生日時		日付時間情報				1	1			被害が発生した日時
	164	更新日時		日付時間情報				1	1			被害情報の更新日時
	165	重傷者数						0	1			重傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数进行判断する。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「重傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-03)」に相当。
	166	総数		9	8			0	1			重傷者の総数。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	167	鉄道		9	7			0	1			重傷者のうち、鉄道に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	168	道路		9	7			0	1			重傷者のうち、道路に関する重傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	169	軽傷者数						0	1			軽傷者の人数。災害時に自治体が需給推計を行い、その推計を元に派遣する職員の数进行判断する。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。TVCM2.0では人的被害(03-04)の「軽傷者【単位:人】(情報項目識別子:03-04-04)」に相当。
	170	総数		9	8			0	1			軽傷者数
	171	鉄道		9	7			0	1			軽傷者のうち、鉄道における軽傷者の数。需給推計を出す際に必要とされる
	172	備考		N	4000			0	1			備考欄として被害状況_付加情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
05	173	被害状況_詳細情報						1	1			被害情報の1事案に関する詳細情報
	174	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	175	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを指す
	176	報告日時	○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないときデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	177	都道府県	○	N	12			1	1			報告を行った市町村が属する都道府県の名称、もしくは報告を行った都道府県の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	178	市町村_消防本部名	○	N	12			1	1			報告を行った市町村もしくは消防本部の名称。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	179	被害識別情報	○	X	20			1	1			被害情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+D+管理番号(5桁～)で管理する
	180	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名。消防庁第4号様式参照。減災情報共有スキーマでは第4号様式に準じている。
	181	確実度	○	X	1	○	確実度	1	1			被害情報の確実度(速報or確定報)。減災情報共有スキーマでは「確認未確認情報」に相当
	182	対応	○	X	1	○	対応状況	1	1			発生した被害の対応状況(未対応、対応中、対応済)
	183	被害種別	○	X	1	○	被害種別	1	1			被害種別(人的被害、住家被害、非住家被害、ライフライン被害等)
	184	被害名		N	50			0	1	○		被害対象名称(人名、建物名等)
	185	発生日時		日付時間情報				0	1			被害が発生した日時
	186	発生場所		N	100			0	1	○		被害の発生場所。減災情報共有スキーマでは「被害場所住所」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しない場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	187	報告者名		職員名情報				0	1			被害報告を行った職員名。減災情報共有スキーマでは「発信者氏名組織」に相当
	188	人的被害						0	N			人的被害に関する被害の詳細情報
	189	被害区分		X	1	○	人的被害区分	0	1			人的被害に関する被害区分(死者、行方不明・・・等)。減災情報共有スキーマでは「人的被害種別」に相当
	190	被害者氏名		氏名情報				0	1	○		被害者氏名に関する情報
	191	被害者性別		X	1	○	性別	0	1			被害者の性別情報
	192	被害者生年月日		生年月日情報				0	1			被害者の生年月日
	193	被害者住所		住所情報				0	1	○		被害者の住所
	194	被害者連絡先		X	30			0	1			被害者の連絡先(電話番号)
	195	収容先		N	100			0	1			被害者の収容先に関する情報
	196	収容先住所		住所情報				0	1	○		被害者の収容先の住所
	197	収容先連絡先		X	30			0	1			被害者の収容先の連絡先(電話番号)

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	CD	コード	出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						コード名	最小	最大			
	198	住家被害						0	N			住家被害に関する情報
	199	被害区分		X	1	○	住家被害区分	0	1			住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
	200	世帯数		9	7			0	1			住家被害により被害を受けた世帯数
	201	被害概況		N	4000			0	1			発生した被害に関する情報
	202	非住家被害						0	N			非住家被害に関する情報
	203	被害対象		X	2	○	被害対象	0	1			被害対象物(公共建物、その他)に関する情報
	204	被害区分		X	1	○	非住家被害区分	0	1			非住家被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
	205	被害概況		N	4000			0	1			発生した被害に関する情報
	206	その他被害						0	N			その他被害(田、畑、文教施設……等)に関する情報
	207	被害対象		X	2	○	被害対象	0	1			その他被害に関する被害対象物(田、畑、文教施設……等)に関する情報
	208	被害区分		X	2	○	その他被害区分	0	1			その他被害に関する被害区分(全壊、半壊……等)
	209	被害概況		N	4000			0	1			発生した被害に関する情報
	210	備考		N	4000			0	1			備考欄として被害状況、詳細情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
06	211	避難指示情報						1	1			住民へ甚大な被害が及ぶと想定される場合に、市町村が住民に対して避難所や避難場所へ避難するよう指示を行う情報
	212	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する
	213	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	214	都道府県	○	N	12			1	1			避難指示を発令した市町村もしくは消防本部が属する都道府県の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
	215	市町村_災对本部名	○	N	12			1	1			避難指示を発令した市町村もしくは災对本部名の名称。減災情報共有スキーマでは「発令機関」に相当
	216	避難指示識別情報	○	X	20			1	1			避難指示情報の整理番号(ID)。CAPでは「identifier」に相当。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+E+管理番号(5桁~)で管理する
	217	発令システム識別子		X	100			0	1			発令したシステムの識別子。一意性を保証するためにインターネットのドメイン名で修飾された名票を使用。CAPでは「Sender」に相当
	218	送信日時		日付時間情報				0	1			避難指示情報をシステムで送信した日時。CAPでは「sent」に相当
	219	発令日時	○	日付時間情報				1	1			避難指示を発令した日時。減災情報共有スキーマでは避難指示発令情報の「発令日時」に相当。TVCM2.0では避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	220	解除日時	○	日付時間情報				0	1			避難指示を解除した日時。TVCM2.0では避難指示情報(03-04)の「発令・解除日時(情報項目識別子:03-04-07)」メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないデータ抽出が出来ないことが想定される。従って、「解除日時_開始」と「解除日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	221	メッセージ状態		X	1	○	メッセージの状態	0	1			避難指示情報(メッセージ)に関する情報。この情報が実際の避難情報なのか、避難演習での情報なのか...等。CAPでは「Status」に相当
	222	メッセージ種別		X	1	○	メッセージの種類	0	1			メッセージの種類。CAPでは「msgType」に相当
	223	配信範囲		X	1	○	配信の範囲	0	1			メッセージ配信先
	224	言語		N	20			0	1			配信情報の記述言語
	225	災害区分		X	2	○	災害区分	0	1			CAPでは「category」要素で示される災害種別のカテゴリを示す
	226	避難原因		N	4000			0	1			災害区別のカテゴリと、この避難の原因となる内容を示す。CAPでは「category/event」に相当。減災情報共有スキーマでは避難指示発令情報の「発令要因」に相当
	227	指示種別	○	X	1	○	避難指示種別	1	1			避難指示の発令内容種別。CAPでは「responseType(urgency,severity,certainty)」に相当。減災情報共有スキーマでは避難指示発令情報の「避難勧告等種別」(避難指示 避難準備情報 自主避難 解除)に相当。TVCM2.0では避難指示情報(03-04)の「指示区分(コード:1:避難準備、2:避難勧告、3:避難指示)(情報項目識別子:03-04-01)」に相当。
	228	発令権限者		職員名情報				0	1			避難指示情報を発令した権者名。メールアドレス等でなく日本語での表示名。CAPでは「senderName」に相当。減災情報共有スキーマでは避難指示発令情報の「発令者」に相当。
	229	ヘッドライン		N	100			1	1			ニュースヘッドラインのように短い文字列で避難情報を流す。CAPでは「headline」に相当。
	230	避難情報文		N	4000			1	1			避難情報の詳細を示した文章。CAPでは「description」に相当。減災情報共有スキーマでは「指示・連絡内容」に相当。TVCM2.0では避難指示情報(03-04)の「対象地区(自由記述)(情報項目識別子:03-04-05-01)」に相当。

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	231	添付ファイル説明文		N	100			0	1			添付ファイルの説明文(例:避難所の場所)。CAPでは「resourceDesc」に相当。
	232	対象地域		N	100			1	1	○		避難指示の発令対象地域に関する説明文。CAPでは「areaDesc」に相当。滅災情報共有スキーマでは避難指示発令情報(03-04)の「対象領域」、「対象領域名」に相当。TVCM2.0では避難指示情報の「対象地区(情報項目識別子:03-04-05)」に相当。
	233	緊急処理事態						0	1			「地方公共団体における国民保護図上訓練の手引き」で記載されている緊急処理事態に関する情報
	234	都道府県緊急処理事態対策本部を設置すべき都道府県		N	100			0	1			緊急処理事態対策本部を設置している都道府県名
	235	市町村緊急処理事態対策本部を設置すべき市町村		N	100			0	1			緊急処理事態対策本部を設置している市町村名
	236	警報内容		N	4000			0	1			緊急処理事態対策本部から発令される警報に関する情報
	237	警報の通知伝達の対象となる地域の範囲		N	4000			0	1			警報の通知・伝達の対象となる地域の範囲に関する情報。全国もしくは特定地域(都道府県)名
	238	サイレンを使用する地域		N	4000			0	1	○		警報の通知・伝達の際にサイレンを使用する地域に関する情報。全国もしくは攻撃が迫り、又は現に攻撃が発生したと認められる地域名。あるいはサイレンは使用しない・・・等
	239	避難措置の指示内容		N	4000			0	1			緊急処理事態発生に伴い指示した避難措置の内容
	240	要避難地域		N	4000			0	1	○		要避難地域名
	241	避難先地域		N	4000			0	1	○		避難先の地域名
	242	住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要		N	4000			0	1			住民の避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要内容(関係機関は、避難中の不測の事態発生の場合には、必要に応じ、速やかに、国民保護法等の関係法令に基づく緊急通報の発令、退避の指示等の所要の措置を行う必要がある。また、避難は関係機関と調整の上、攻撃の予防・鎮圧措置等も踏まえ、安全な経路・場所を選択する必要がある)
	243	発令・解除区分		X	2	○	発令・解除区分	1	1			避難指示情報の発令・解除の区分 (01:発令、02:解除)
	244	発令理由		N	1000			0	1			避難指示等を発令した際の理由(住民にとっての避難理由でもある)。放送局等のメディアが必要としている情報であり、具体的な説明が求められる。発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・〇〇川の水位がはん濫注意水位に到達し、堤防を越える恐れがあります。 ・〇〇川排水機場 ポンプ停止に伴い冠水 面の上昇が懸念されます。 ・近隣の崖から湧き水が増えており、がけ崩れの恐れがあります。 ・〇時〇分に〇〇市に大雨警報が発表されました。土砂災害の危険性が高くなることが予想されます。 ・△△地区で土砂災害の発生が確認され、土砂災害の危険性が極めて高まっています。 ・大津波警報が発表されました。
	245	避難行動指針		N	1000			0	1			住民がとる避難行動への指針となる情報 発令地区ごとに内容が異なる場合は、発令地区との対応がわかるように記述。 【例】 ・〇〇地域の〇〇地区の方は、直ちに予め定めた避難行動をとってください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難して下さい。 ・自宅の2階や避難所など、安全に避難できる場所に避難してください。 ・現在、浸水により〇〇道は通行できない状況です。〇〇地区を避難中の方は大至急、最寄りの高層建物など、安全な場所に避難してください。 ・急斜面の付近や河川沿いにいる方は、急斜面や河川等から離れたなるべく頑強な建物等へ避難して下さい。 ・ただちに海岸や河川から離れ、できるだけ高い場所に避難してください。
	246	備考		N	4000			0	1			備考欄として避難指示情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
07	247	避難所情報						1	1			避難所の運営状況に関する情報
	248	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	249	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	250	都道府県	○	N	12			1	1			避難所を運営する市町村が属する都道府県の名称
	251	市町村_災对本部名	○	N	12			1	1			避難所を運営する市町村もしくは災对本部の名称
	252	避難所識別情報	○	X	20			1	1			避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁)で管理する。減災情報共有スキーマでは「避難所ID」に相当。
	253	避難所名	○	N	30			1	1			避難所の名称。減災情報共有スキーマでは「避難所施設名称」に相当。TVCM2.0では「避難所名称(情報項目識別子:03-04-01)」に相当
	254	避難所種別		X	2	○	避難所種別	1	1			避難所の種別 (01:避難所、02:臨時避難所、03:広域避難場所:開設措置なし、04:一時避難場所:開設措置) ※アラートへの配信の際は、最新のアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要
	255	避難所指定区分		X	2	○	避難所指定区分	0	1			避難所の指定区分 (01:指定避難所、02:指定緊急避難場所兼避難所、03:指定緊急避難場所、04指定なし) ※アラートへの配信の際は、最新のアラート仕様を確認の上、コード設定する等の対応が必要
	256	電話番号		X	30			0	1			避難所の電話番号
	257	FAX番号		X	30			0	1			避難所のFAX番号
	258	避難所の連絡先		N	1000			0	1			避難所の連絡先(電話、メール等)
	259	避難所住所		住所情報				0	1			避難所の住所
	260	緯度		9V	3、6			0	1			避難所の位置情報(緯度) ※世界測地系10進法で入力(例:34.768797)
	261	経度		9V	3、6			0	1			避難所の位置情報(経度) ※世界測地系10進法で入力(例:134.836031)
	262	管理者		職員名情報				0	1			避難所の管理者名
	263	収容人数		9	7			0	1			避難所の収容者人数。減災情報共有スキーマでは「収容可能数」に相当
	264	報告日時	○	日付時間情報				1	1			避難所からの報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで含まないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	265	避難所状況確認日時		日付時間情報				0	1			避難所の状況を確認した日付・時間
	266	建物被害状況		N	4000			0	1			避難所建物の被害状況。
	267	電力被害状況		N	4000			0	1			避難所建物の電力使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(停電)」に相当。
	268	通信手段被害状況		N	4000			0	1			避難所建物の通信手段使用状況。減災情報共有スキーマでは「設備状況(電話不通)」に相当。
	269	その他の被害		N	4000			0	1			避難所建物のその他被害状況

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
	270	使用可否		X	1	○	可否	0	1			避難所の使用可否(避難所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
	271	開設の可否		X	1	○	可否	1	1			避難所の開設の可・不可。TVCM2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖区分(コード)(情報項目識別子:03-04-05)、開設・閉鎖区分(文字)(情報項目識別子(03-04-06))」に相当。
	272	開設日時	○	日付時間情報				1	1			避難所を開設した日時。減災情報共有スキーマでは「開設予定日時」に相当。TVCM2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「開設日時_開始」と「開設日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	273	閉鎖日時	○	日付時間情報				1	1			避難所を閉鎖した日時。減災情報共有スキーマでは「閉鎖予定日時」に相当。TVCM2.0では避難所情報(03-04)の「開設・閉鎖日時(情報項目識別子:03-04-10)」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「閉鎖日時_開始」と「閉鎖日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	274	避難者数		9	7			0	1			避難所への避難者数。減災情報共有スキーマでは「避難者総数」に相当。
	275	避難世帯数		9	7			0	1			避難所への避難世帯数
	276	負傷者数		9	7			0	1			負傷している住民数
	277	要援護者数						0	1			避難所へ避難した要援護者住民の数に関する情報
	278	要介護度3以上		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上の住民数
	279	一人暮らし高齢者.65歳以上		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者の住民数
	280	高齢者世帯.夫婦共に65歳以上		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)の住民数
	281	寝たきり高齢者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者の住民数
	282	認知症高齢者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者の住民数
	283	療育手帳A.A1.A2所持者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持の住民数
	284	身体障がい者手帳1.2級所持者		9	7			0	1			避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持の住民数
	285	備考		N	4000			0	1			備考欄として避難所情報に関連するその他情報を記入する

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
08	286	避難者情報						1	1			避難所へ避難している住民に関する情報
	287	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する
	288	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	289	氏名	○	氏名情報				1	1	○		避難者の氏名
	290	性別	○	X	1	○	性別	1	1			避難者の性別(男性、女性)
	291	年齢		9	3			0	1			避難者の年齢
	292	生年月日	○	生年月日情報				1	1			避難者の生年月日
	293	住所	○	住所情報				1	1	○		避難者の住所
	294	市外区分		X	1	○	市外区分	0	1			避難者が市内に居住(住民票)を設置しているか、市外に居住しているかを区分する
	295	避難先避難所名		N	30			0	1			避難者が避難した避難所名
	296	避難状況		X	1	○	避難区分	0	1			市民が避難所へ「避難済」「未避難」「避難所を既に退去済」
	297	避難理由		N	4000			0	1			避難した理由(自主避難、 避難指示 に基づき避難等)
	298	入所年月日		日時時間情報				0	1			避難所へ避難してきた日時
	299	退所年月日		日時時間情報				0	1			避難所を退去した日時
	300	退所先		N	100			0	1			避難所を退去した後、どこへ行ったか(自宅へ帰宅等)
	301	退所先電話番号		X	30			0	1			退去先の電話番号
	302	負傷		X	1	○	負傷	0	1			怪我の有無
	303	負傷内容		N	4000			0	1			怪我の内容
	304	アレルギー		X	1	○	アレルギー	0	1			アレルギーの有無
	305	アレルギー物質		N	4000			0	1			アレルギー物質名
	306	妊婦		X	1	○	妊婦区分	0	1			「妊娠中」「該当しない」かを選択する
	307	乳幼児		X	1	○	乳幼児区分	0	1			「1歳に満たない子供」「該当しない」を選択する
	308	要介護者区分						0	1			要介護者区分「要介護度3以上」「一人暮らし高齢者_65歳以上」「高齢者夫妻_夫婦共に65歳以上」「寝たきり認証高齢者」「療育手帳A、A1、A2所持者」「身体障がい者手帳1、2級所持者」
	309	要介護度3以上		X	2	○	要介護度	0	1			避難所へ避難した住民のうち、要介護度3以上に該当するか否か
	310	一人暮らし高齢者_65歳以上		X	1	○	一人暮らし高齢者_65歳以上	0	1			避難所へ避難した住民のうち、一人暮らし高齢者に該当するか否か
	311	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上		X	1	○	高齢者世帯_夫婦共に65歳以上	0	1			避難所へ避難した住民のうち、高齢者世帯(夫婦共に65歳以上)に該当するか否か
	312	寝たきり高齢者		X	1	○	寝たきり高齢者	0	1			避難所へ避難した住民のうち、寝たきり高齢者に該当するか否か

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
	313			X	1	○	認知症高齢者	0	1			避難所へ避難した住民のうち、認知症高齢者に該当するか否か
	314			X	2	○	療育手帳等級	0	1			避難所へ避難した住民のうち、療育手帳A、A1、A2所持に該当するか否か
	315			X	1	○	身体障がい者手帳1,2級所持者	0	1			避難所へ避難した住民のうち、身体障がい者手帳1、2級所持に該当するか否か
	316	備考		N	4000			0	1			備考欄として避難者情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明	
連番	NO					CD	コード名	最小	最大				
09	317	災害対応活動情報						1	1			災害対応活動に関する報告	
	318	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁~)で管理する	
	319	災害名	○	N	40			1	1				災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	320	都道府県	○	N	12			1	1				災害対応活動を行い、情報を登録した市町村が属する都道府県の名称
	321	市町村.消防本部名	○	N	12			1	1				災害対応活動を行い、情報を登録した市町村又は消防本部の名称
	322	報告日時	○	日付時間情報				1	1				報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないことデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	323	報告者名		職員名情報				0	1				報告を実施した職員の氏名
	324	組織名		所属情報				0	1				報告元自治体内組織名称
	325	活動情報						1	1				災害対応活動に関する情報
	326	活動識別情報	○	X	20			1	1				活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+A+管理番号(5桁~)で管理する
	327	タイトル	○	N	50			1	1				活動内容が分かるタイトル
	328	活動開始日時		日付時間情報				1	1				災害対応活動を開始した日時
	329	活動終了日時		日付時間情報				1	1				災害対応活動を終了した日時
	330	活動場所		N	100			1	1	○			災害対応活動の活動場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	331	活動内容		N	4000			1	1				災害対応活動の内容
	332	備考		N	4000			0	1				備考欄として災害対応活動情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
10	333	配備体制情報						1	1			地域防災計画に基づき、災害が発生し、または災害が発生する恐れがある場合において、防災活動を推進するために必要がある場合に、各団体にて定められている基準に基づき配備体制を敷く際の配備体制状況
	334	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	335	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	336	都道府県	○	N	12			1	1			配備体制を発令した市町村が属する都道府県の名称
	337	市町村_災対本部名	○	N	12			1	1			配備体制を発令した市町村もしくは災対本部の名称
	338	登録日時			日付時間情報			1	1			配備体制情報を登録した日時
	339	発令日時	○		日付時間情報			1	1			配備体制を発令した日時。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「発令日時」に相当。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「発令日時_開始」と「発令日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	340	解除日時			日付時間情報			0	1			配備体制を解除した日時
	341	配備体制名			N	30			1	1		配備体制名称。減災情報共有スキーマでは警戒態勢発令情報の「警戒態勢等種別(通常体制 警戒準備 警戒 警戒本部設置 災害対策本部)」に相当。
	342	備考			N	4000			0	1		備考欄として配備体制情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名： 防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	CD	コード	出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO						コード名	最小	最大			
11	343	通行規制情報						1	1			各種道路の規制状況に関する情報
	344	規制ID	○	X	20			1	1			規制情報を一意に識別するID。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+C+管理番号(3桁~)で管理する。減災情報共有スキーマでは「道路規制ID」に相当。
	345	管理者	○	X	2	○	管理者種別	1	1			道路の管理者(国、都道府県、市町村)
	346	管理団体名	○	N	30			1	1			道路を管理している団体名
	347	道路種別	○	X	2	○	道路種別	1	1			道路種別
	348	路線名	○	N	40			1	1			路線名称(ex 国道1号線)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
	349	登録日時	○	日付時間情報				1	1			登録を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	350	通行規制災害種別	○	X	1	○	通行規制の原因となった災害の種別	1	1			通行規制情報の災害種別
	351	緊急輸送路の指定		X	1	○	緊急輸送路指定	1	1			緊急輸送路指定の有無
	352	規制開始位置		N	100			1	1			通行規制の開始場所
	353	規制終了位置		N	100			1	1			通行規制の終了場所
	354	規制発生日時		日付時間情報				1	1			通行規制が発生した日時。減災情報共有スキーマでは「規制開始時刻」に相当。
	355	規制解除日時		日付時間情報				1	1			通行規制を解除した日時。減災情報共有スキーマでは「規制終了時刻」に相当。
	356	時間帯規制種別						0	1			規制時間帯に関する情報
	357	規制種別		X	1	○	時間帯規制種別	0	1			規制の種類
	358	時間帯規制開始時刻		日付時間情報				0	1			時間帯規制の場合の開始時刻
	359	時間帯規制終了時刻		日付時間情報				0	1			時間帯規制の場合の終了時刻
	360	規制原因内容		N	4000			0	1			通行規制の原因や内容(全面規制、交互規制、片側規制等)。減災情報共有スキーマでは「規制区分」と「規制理由」に相当。
	361	迂回路有無		X	1	○	迂回路	1	1			迂回路が有るのか、迂回路が無いのか
	362	迂回方法		N	4000			0	1			具体的な迂回方法
	363	復旧見込み日時		日付時間情報				1	1			復旧の見込みの日時
	364	備考		N	4000			0	1			備考欄として通行規制情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
12	365	水防活動情報						1	1			洪水や高潮等の恐れがある時にその現場へ出動し、氾濫等による被害拡大を防止するために対応/処置する水防活動に関する活動報告
	366	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID、市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	367	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	368	水防活動識別情報	○	X	20			1	1			水防活動情報のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+S+管理番号(5桁～)で管理する
	369	管理団体名	○	N	30			1	1			当該施設(河川等)を管理している都道府県の名称、もしくは当該施設(河川等)を管理している市町村が属する都道府県の名称
	370	報告年月日	○	日付情報				1	1			報告を行った年月日。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで含まないとデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告年月日_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	371	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名
	372	河川名	○	N	12			1	1			水防活動を実施する河川の名称
	373	場所		N	100			1	1	○		出水の概況説明。記入例としては○○川(左、右)○○地先○○m。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	374	日時						1	1			活動を実施した日時
	375	自		日付時間情報				1	1			開始日時
	376	至		日付時間情報				1	1			終了日時
	377	出動人員数						0	1			出動人員数
	378	水防団員		9	7			0	1			出動している水防団員の数(人)
	379	消防団員		9	7			0	1			出動している消防団員の数(人)
	380	その他		9	7			0	1			出動しているその他の人員の数(人)
	381	出動人員数計		9	8			0	1			出動人員の合計(人)
	382	水防作業の概況及び工法						1	1			水防作業の概況及び工法について
	383	工法		N	4000			1	1			実施工法名
	384	箇所		N	4000			1	1			作業箇所
	385	m		9V				1	1			範囲(m)。データ型は“float”となっており、“float”の場合、桁数制約のmaxLengthやtotalDigitsが指定できないため、桁数の定義が出来ないため、出現回数については制約を設けていません
	386	備考		N	4000			0	1			備考欄として水防活動情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
13	387	自治体基礎情報						1	1			災害対応時に使用する可能性が高い公共施設の情報
	388	都道府県	○	N	12			1	1			該当する基礎情報を管理している都道府県の名称、もしくは該当する基礎情報を管理している市町村が属する都道府県の名称
	389	市町村,消防本部名	○	N	12			1	1			該当する基礎情報を管理している市町村の名称
	390	公共施設情報						0	N			自治体が有する公共施設に関する情報
	391	公共施設名		N	30			0	1			公共施設名称
	392	公共施設_住所		住所情報				0	1	○		公共施設の住所
	393	重要施設情報						0	N			自治体の管内にある重要施設に関する情報
	394	重要施設名		N	30			0	1			重要施設の名称
	395	重要施設種別		X	2	○	重要施設	0	1			災害時の重要施設の施設種別
	396	重要施設_住所		住所情報				0	1			重要施設の住所
	397	医療施設情報						0	N			自治体の管内にある医療施設に関する情報
	398	医療施設名		N	30			0	1	○		医療施設の名称
	399	医療施設_住所		住所情報				0	1	○		病院の住所
	400	医療施設_連絡先		X	30			0	1			病院の連絡先
401	備考		N	4000			0	1			備考欄として自治体基礎情報に関連するその他情報を記入する	

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
14	402	物資_資機材備蓄情報						1	1			平常時より管理・備蓄している物資数、資機材数に関する情報
	403	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID。市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する
	404	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	405	都道府県	○	N	12			1	1			物資・資機材を管理・備蓄している市町村が属する都道府県の名称
	406	市町村_災对本部名	○	N	12			1	1			物資・資機材を管理・備蓄している市町村もしくは災对本部の名称
	407	登録日時	○	日付時間情報				1	1			情報を登録した日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないとうデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「登録日時_開始」と「登録日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	408	備蓄施設情報						1	N			資機材や物資を備蓄している(防災)施設名称
	409	備蓄施設識別情報	○	X	20			1	1			避難所のID。市町村から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+M+管理番号(5桁)で管理する。
	410	備蓄施設名	○	N	30			1	1			備蓄している物資の名称
	411	保有車両		9	7			0	1			団体が保有している車両数
	412	船艇		9	7			0	1			船艇数
	413	ヘリコプター		9	7			0	1			ヘリコプター数
	414	土嚢袋		9	7			0	1			土嚢袋数
	415	ビニールシート		9	7			0	1			ビニールシート数
	416	テント		9	7			0	1			テントの数
	417	更衣室_授乳室		9	7			0	1			更衣室や授乳室の数
	418	車椅子		9	7			0	1			車椅子の数
	419	なわ		9	7			0	1			なわの数
	420	針金		9	7			0	1			針金の数
	421	スコップ		9	7			0	1			スコップの数
	422	くい		9	7			0	1			くいの数
	423	のこぎり		9	7			0	1			のこぎりの数
	424	おの		9	7			0	1			おのの数
	425	ハンマー		9	7			0	1			ハンマーの数
	426	かま		9	7			0	1			かまの数
	427	なた		9	7			0	1			なたの数

NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
					CD	コード名	最小	最大			
428	じょれん		9	7			0	1			じょれんの数
429	つるはし		9	7			0	1			つるはしの数
430	杉丸太		9	7			0	1			杉丸太の数
431	釘		9	7			0	1			釘の数
432	かけや		9	7			0	1			かけやの数
433	小車		9	7			0	1			小車の数
434	ベンチ		9	7			0	1			ベンチの数
435	金槌		9	7			0	1			金槌の数
436	ウィンチ		9	7			0	1			ウィンチの数
437	かすがい		9	7			0	1			かすがいの数
438	バケツ		9	7			0	1			バケツの数
439	救命ブイ		9	7			0	1			救命ブイの数
440	救命ボート		9	7			0	1			救命ボートの数
441	ロープ		9	7			0	1			ロープの数
442	懐中電灯		9	7			0	1			懐中電灯の数
443	救助用照明具		9	7			0	1			救助用照明具の数
444	発電機		9	7			0	1			発電機の数
445	ガソリン携行缶		9	7			0	1			ガソリン携行缶の数
446	無線機		9	7			0	1			無線機の数
447	ラジオ		9	7			0	1			ラジオの数
448	簡易救助器具		9	7			0	1			簡易救命器具の数
449	拡声器		9	7			0	1			拡声器の数
450	間仕切り		9	7			0	1			間仕切りの数
451	コンクリートパネル		9	7			0	1			コンクリートパネルの数
452	仮設簡易トイレ		9	7			0	1			仮設トイレや簡易トイレの数
453	断熱シート		9	7			0	1			断熱シートの数
454	アルファ米		9	7			0	1			アルファ米の数

データ一覧

業務ユニット名： 防災情報共有

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
	455	かんばん		9	7			0	1			かんばんの数
	456	クラッカー		9	7			0	1			クラッカーの数
	457	保存飲料水		9	7			0	1			保存飲料水の数
	458	毛布		9	7			0	1			毛布の枚数
	459	エマーゼンシーブランケット		9	7			0	1			エマーゼンシーブランケットの数
	460	オールウェザーブランケット		9	7			0	1			オールウェザーブランケットの数
	461	ミルク		9	7			0	1			ミルクの数
	462	哺乳瓶		9	7			0	1			哺乳瓶の数
	463	離乳食		9	7			0	1			離乳食の数
	464	やかん		9	7			0	1			やかんの数
	465	カセットコンロ		9	7			0	1			カセットコンロの数
	466	おむつ_大人用		9	7			0	1			大人用のおむつの数
	467	おむつ_子供用		9	7			0	1			子供用のおむつの数
	468	生理用品		9	7			0	1			生理用品の数
	469	医療資機材		9	7			0	1			医療資機材の数
	470	備考		N	4000			0	1			備考欄として物資_資機材備蓄情報に関連するその他情報を記入する

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
						CD	コード名	最小	最大			
15	471	道路被害情報						1	1			道路に関する被害情報
	472	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID、市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁〜)で管理する
	473	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す
	474	管理者	○	X	2	○	管理者種別	1	1			道路の管理者(国、都道府県、市町村等)
	475	管理団体名	○	N	30			1	1			道路を管理している団体名
	476	道路種別	○	X	2	○	道路種別	1	1			道路の種別(地方道、高速道等)
	477	路線名	○	N	30			1	1			路線名称(ex国道1号線等)。減災情報共有スキーマでは「路線名」に相当。
	478	報告日時	○	日付時間情報				1	1			報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能な形とする
	479	報告者名		職員名情報				0	1			報告を実施した職員の氏名
	480	道路被害識別情報	○	X	20			1	1			道路被害情報のID。道路被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+R+管理番号(5桁〜)で管理する
	481	被害区分		X	2	○	その他被害区分	1	1			被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
	482	発生場所		N	100			1	1	○		被害が発生した場所。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生場所(情報項目識別子:03-04-01-03)」に相当。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない。減災情報共有スキーマでは「被害箇所住所」に相当。
	483	対応状況		N	4000			0	1			被害に対する対応状況
	484	緊急輸送路の指定		X	1	○	緊急輸送路指定	0	1			緊急輸送路指定の有無
	485	復旧見込み日時		日付時間情報				0	1			復旧の見込みの日時。TVCML2.0では被害情報(道路)(03-04)の「発生・復旧日時(情報項目識別子:03-04-01-05)」に相当。
486	備考		N	4000			0	1			備考欄として道路被害情報に関連するその他情報を記入する	

データ一覧

業務ユニット名：防災情報共有

連番	NO	データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明	
						CD	コード名	最小	最大				
16	487	橋梁被害情報						1	1			橋梁に関する被害情報	
	488	災害識別情報	○	X	20			1	1			災害名称のID、市町村や都道府県から格納されたデータを一意で識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+管理番号(5桁～)で管理する	
	489	災害名	○	N	40			1	1			災害名称。将来的には災害名称自体のIDも一意で付与・管理することを目指す	
	490	管理者	○	X	2	○	管理者種別	1	1			橋梁の管理者	
	491	管理団体名	○	N	30			1	1			橋梁を管理している団体名	
	492	橋梁名	○	N	30			1	1			橋梁名。減災情報共有スキーマでは「橋梁名」に相当	
	493	報告日時	○	日付時間情報				1	1				報告を行った日時。メッセージ定義スキーマでは、時間でデータを検索・抽出する際に、入力した「時間」がピンポイントで合わないこととデータの抽出が出来ないことが想定される。従って、「報告日時_開始」と「報告日時_終了」として、入力した「時間」が「開始」と「終了」の間で検索・抽出が可能となる
	494	報告者名		職員名情報				0	1				報告を実施した職員の氏名
	495	橋梁被害識別情報	○	X	20			1	1				橋梁被害情報のID。橋梁被害情報データを一意に識別する。IDはJISコードの都道府県コード(2桁)+市町村コード(3桁)+B+管理番号(5桁～)で管理する
	496	被害区分		X	2	○	その他被害区分	1	1				被害の区分(ex 陥没等)。減災情報共有スキーマでは「被害区分」に相当。
	497	発生場所		N	100			1	1	○			被害が発生した場所。住所情報なので本来は項目セット辞書の「住所情報」を活用するところであるが、災害時には住所が特定しにくい場合もあるため、ここでは項目セット辞書を活用しない
	498	対応状況		N	4000			0	1				被害に対する対応状況
	499	復旧見込み日時		日付時間情報				0	1				復旧の見込みの日時
	500	備考		N	4000			0	1				備考欄として橋梁被害情報に関連するその他情報を記入する
17	501	映像情報						1	1			各団体における定点カメラ映像や公共施設管理のカメラ映像に関する情報	
	502	管理者	○	X	2	○	管理者種別	1	1			映像情報を管理・配信している団体種別(国、都道府県、市町村、その他)	
	503	管理団体名	○	N	30			1	1			映像情報を管理・配信している団体名称	
	504	映像提供元URL		X	4000			1	1			被害映像情報を提供先のURL	
	505	備考		N	4000			0	1			備考欄として映像情報に関連するその他情報を記入する	

NO		データ項目名	キー	データ型	桁数	コード		出現回数		外字 使用	サンプル値	項目説明
連番	NO					CD	コード名	最小	最大			
18	506	避難場所情報						1	1			避難場所に関する情報
	507	都道府県	○	N	12			1	1			避難場所を運営する市町村が属する都道府県の名称
	508	市町村_災对本部名	○	N	12			1	1			避難場所を運営する市町村もしくは災对本部の名称
	509	避難場所名	○	N	30			1	1			避難場所の名称
	510	電話番号		X	30			0	1			避難場所の電話番号
	511	FAX番号		X	30			0	1			避難場所のFAX番号
	512	管理者		職員名情報				0	1			避難場所の管理者名
	513	収容人数		9	7			0	1			避難場所の収容者人数
	514	使用可否		X	1	○	可否	0	1			避難場所の使用可否(避難場所の損壊状況次第では使用できないことも想定)
	515	備考		N	4000			0	1			備考欄として避難場所情報に関連するその他情報を記入する

項目セット辞書指定時は属性・桁数省略
出現回数・外字・サンプル値・項目説明は必要